

令和二年度 事業報告

社会福祉法人 シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム みさよほうす土支田

短期入所生活介護 みさよほうす土支田

ウィング練馬居宅介護事業所

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

1 はじめに

平成 22 年 4 月開設以来、みさよはうす土支田は、12 年目を迎えました。ご利用者様お一人お一人の個性を大切に、小規模施設ならではの、きめ細やかなサービスと笑顔をモットーに取り組んで参りました。地域に開かれた、地域の方に愛されるアットホームな特別養護老人ホームとして順調に推移致しているところです。

令和 2 年度におきましては、施設全体の稼働率は、利用者のニーズに的確に応える努力をしましたが、年間を通じ 98.58% (別表 7) となっています。

令和 2 年度については利用者の皆様に、更なる高品質で付加価値の高い施設の運営を行ない、真っ先に選んで頂ける世界で有数の施設を目指してまいります。

2 事業実績について

特養は定員 30 名に対し、年平均入所者実人員は 29.4 人であった。令和 2 年度の新規入所者は 6 名、退所者は 6 人であった (表 1)。また、平均年齢は、男性 69.25 歳 女性 89.65 歳、全体で 88.24 歳であり、要介護度の平均は、男性 4.0、女性 4.0、全体で 4.0 となっている。入所者の趨勢的高齢化、重度化の傾向が窺われる (別表 1～3)。

《表 1》 特養退所者の状況

No.	性別	年齢 (退所時)	退所月日	退所後の居所
1	男	90 歳	令和 2 年 4 月 26 日	永眠 (施設にて<老衰>)
2	女	96 歳	令和 2 年 6 月 1 日	医療機関(入院, 同月 9 日永眠)
3	女	86 歳	令和 2 年 9 月 10 日	永眠 (施設にて<老衰>)
4	女	86 歳	令和 2 年 12 月 29 日	永眠 (施設にて<老衰>)
5	女	95 歳	令和 3 年 1 月 2 日	永眠 (施設にて<老衰>)
6	女	92 歳	令和 3 年 3 月 2 日	医療機関 (同月 31 日現在、入院中)

3 サービス内容について

(1) 食事介助

入所者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下状態の低下傾向のある入所者については、適切な食形態の検討を行い、経口摂取の維持に努めた。なお、令和 2 年度末現在、食事介助を必要とする人が 7 名、食

事形態別では、常食 7 名、一口大 2 名、きざみ食 6 名、ごくきざみ食 5 名、ミキサー食 7 名、胃漏 2 名となっている。

また、体調等を考慮し、居室配膳や居室での喫食を実施した。

(2) 入浴介助

入所者の身体状態に合わせ、平成 31 年度末現在、特浴(11 名)、チェア浴 (13 名)、一般浴 (6 名) の 3 機種の中からより安全な入浴方法を選び、週 3 回 (月・水・金) の入浴を実施した。ちなみに、ショート・ステイ(S.S.)の方でも、2 名枠で同様に 3 機種で実施した。

(3) 排泄介助

おむつ交換は、1 日 6 回の定時交換 (1 時、5 時、9 時、13 時、16 時および 20 時) のほか、随時の個別確認、及びナースコールによる要請により実施した。

(4) 栄養管理

特養入所者については、次の栄養ケアマネジメントを実施した。

- ①毎食後の食事摂取量の記録
- ②月 1 回の体重測定 (新規入所者は入所時)
- ③健康状態の把握
- ④褥瘡の状態の把握 (アルブミン値などから体内の栄養状態を把握し、必要なケアを行なう。)
- ⑤食事形態、食事の変更等の記録
- ⑥必要栄養量・水分・たんぱく質量の算定、充足率を把握

(5) 健康管理

嘱託医による週 1 回の内科往診および月 2 回の精神科の往診があり、通院治療が必要な場合は、家族の協力等により受診し、入所者 1 人ひとりが、心身共に健康で充実した日常生活を送れるよう健康管理を行った。

今期も、9 月に健康診断を実施。10 月から 11 月にかけて、家族の承諾によりインフルエンザ予防接種を実施。生活の場における保湿、室温管理、脱水予防などを徹底した。一方、職員のうがい、手洗い、マスクの着用を早期に励行し予防を徹底した当施設は、機能強化型在宅療養支援診療所と提携している。(これは、訪問診療に従事する常勤医師が複数名おり、厚生労働省で決められた厳しい実績を有し、1 年 365 日 24 時間、連絡がつく体制のクリニックのことを言う。)

(6) 機能訓練

①常勤の機能訓練指導員を中心に、看護師、介護職、理学療法士 (非常勤) 等が連携し、身体、嚥下、言語等の機能面においてより充実したりハビリを実施した。

特に、理学療法士 (非常勤) は、個別機能訓練計画書に基づき、現在の身体の様子を確認しながらリハビリを行い、計画の変更があれば、介護職にもポイントを指導した。併せて、車イスやベッドでのポジショニングについても、指導した。ま

た、言語聴覚士は、今年度は不在であったため、個別に話す、聞く、食べることについては、上職の連携によって指導され、集団での口腔体操により誤嚥予防のリハビリを実施した。

②提携外部の歯科医師による口腔ケアを週1回実施した。尚、歯科に関しては、必要時にご家族了解のもと、治療も実施した。

(7) レクリエーション

毎月1回、誕生会は、2～3ヶ月に1回、その他、歌唱（童謡・文部科学省唱歌）・

カラオケ（懐メロ等）、公園への散歩、お化粧品、お茶会、みさよカフェ、ボーリング、風船バレー、棒・タオル体操、ぬり絵、折り紙、各種ゲーム、映画鑑賞など、

入浴日を除く毎日、職員が中心となり、実施した。

《表2》

年間行事・・・こども食堂、そろばん教室、英会話教室は毎月1回開催。

	行事内容
4月	さくら見ドライブ（前月の3月に3回行った。4月は1回のみ。）
5月	こどもの日に、鯉のぼりを飾る。カラオケ大会も兼ねて開催される。音楽体操が開催される。（第一興商様によるボランティアによるレクリエーション）
6月	紫陽花祭り（紫陽花の折り紙、塗り絵等をスタッフと一緒に行う。）
7月	七夕祭り開催（18名参加）
8月	コロナ渦により盆踊り会は中止されるが、歌唱・カラオケ大会開催。
9月	納涼祭開催される。スイカ割りやノンアルコールビールで、乾杯！（21名参加）誕生日祝いも兼ねての開催となる。
10月	収穫祭（脳トレ、カラオケ大会開催）で楽しめる。施設長からも、「免疫力を落とさぬように、栄養、運動、休養に心がけましょう！」という挨拶があった。
11月	子ども神輿見学会開催。（18名参加）。ハローインでかぼちゃの仮装で楽しめる（21名参加）。
12月	がボランティア演奏会を再開催！（19名参加）。12月24日クリスマス会（17名参加）。（第一興商様によるボランティアによるレクリエーション）
1月	職員による獅子舞も、各フロアを回りながら行い、利用者の方々から、喝采が上がりました。一年無病息災を祈って利用者の頭を噛む真似をし笑顔がこぼれました。懐かしの春日八郎さんのモノマネは大好評でした。（19名参加）また、正月版・寅さん映画が上映され、好評を博しました。
2月	節分の豆まき・獅子舞（21名参加）。熟年の演技に拍手喝采。寅さん映画好評につき、第2弾が上映される。
3月	桜見ドライブ・レクの実施。（9名参加。光が丘公園周辺と樹林公園）。

満開の桜を觀賞し、「樹林公園の方がすごかった！」という声が聞かれました。寅さん映画鑑賞第3弾上映。カラオケで施設長も、熱唱！



●月一回のレクリエーションには、色んな有名人も？その方は、もしや、あの大物歌手の・・・！歌唱・カラオケの時間。肺や気管支の健康維持にも！

●体操・機能訓練・脳トレもいいけれど、お正月は、やっぱり寅さん映画が一番だね～・・・



●レクリエーションでは、珍しい楽器の演奏も行われます。挑戦してみてはいかがでしょうか？

●クリスマス会程、この歳になっても、変わらず、楽しいものはない！



●いざという時のため、防火・防災訓練が、光が丘消防署の職員の方々のご指導のもと、行なわれた。

●無病息災を願って、みさよはうす土支田に今年も、獅子が舞いました。

4 家族等との連絡調整等

令和2年度は、コロナ渦の中、面会禁止の日々が続いた。どうしても面会させて欲しいというご家族には、正面玄関のガラスドア越しの面会を5分以内に制限したり、電話対応したりと、工夫を凝らして安全第一に行われた。また、来所希望のあまりないご家族様にも、季節の節目には、連絡を入れ、現況を伝えるようにした。ご面会者数、昨年度の通常2,107人（1日平均5.75人）→87名（1日平均0.23人）と激減。

5 各種委員会等

下表の委員会等を定期的で開催し、利用者のケア等について検討した。

《表3》

委員会名	内 容
① 栄養委員会	利用者の栄養ケアに関すること
② 口腔ケア委員会	口腔内の衛生を保ち、誤嚥性肺炎などの呼吸器系の事故・疾病を未然に防ぐことなどについて
③ 感染症対策委員会	施設内外の環境衛生、感染症の予防等に関し、ノロウイルス、インフルエンザ、手洗いうがいの励行について。
④ 褥瘡対策委員会	褥瘡の予防、処置等に関し、おむつ交換、体位交換、皮膚の洗浄の必要性について
⑤ 身体拘束廃止虐待防止委員会	利用者の身体拘束に関する基準、説明と同意に関することについて（毎月開催）
⑥ 事故防止委員会	利用者等にかかる事故の防止に関することについて
⑦ 防災・安全対策委員会	防火・災害防止及び災害時の対応等に関すること。
⑧ リハビリ委員会	個別機能訓練等の検討等に関すること
⑨ レクリエーション委員会	利用者のレクリエーションの計画・実施等に関すること
⑩ ボランティア活用推進委員会	ボランティアの活用、登録等に関すること
⑪ 入所判定委員会	入所者の選定に関すること
⑫ 職員会議	施設全般の運営・管理等に関すること、情報伝達等
⑬ 安全衛生委員会	職員の労働環境、健康管理の確保等
⑭ 研修委員会	全職員の知識・技術の向上等のための研修に関すること

6 職員研修

集合研修を実施することが困難なシフト制職場であるため、同一内容を伝達研修やDVD研修、また昨年度に引き続き、e-learningと新しくZOOM活用研修を行なう等の工夫を行った。

《表4》主たる研修会一覧

※ E-learning はお茶の水サービス学院の研修項目を各自、弱点設定受講。

No.	名称	開催月	人数	備考
1	感染症対策セミナー(ヒトの免疫防衛システム)	令和2年4月	1名	職場内研修 (講師：清水施設長)
2	コロナ渦にて中止	令和2年5月	6名	法人研修
3	コロナ渦にて中止	令和2年6月	5名	法人研修
4	コロナ渦にて中止	令和2年7月	-名	法人研修
5	コロナ渦にて中止	令和2年8月	-名	法人研修
6	感染症対策について	令和2年9月	-名	法人研修・勝野理事
7	身体拘束廃止への取り組みについて	令和2年10月	4名	法人研修・勝野理事
8	事故防止への取り組み	令和2年11月	4名	法人研修・勝野理事
9	褥瘡予防、活動への参加におけるポジショニングを考える ZOOM	令和2年12月	4名	職場内研修
10	プライバシーポリシー	令和2年12月	5名	法人研修・勝野理事
11	感染症対策研修(免疫学的視点に立って)	令和3年1月	7名	職場内研修 (講師：清水施設長)
12	記録の書き方	令和3年1月	6名	法人研修・勝野理事
13	高齢者虐待・身体拘束等の手引き学習会	令和3年2月	6名	職場内研修
14	福祉サービスにおける	令和3年2月	4名	法人研修・勝野理事
15	消火器研修(機能と位置確認)	令和3年3月	7名	光が丘消防署

7 ボランティアの受入れ

平成25年度に制定した「ボランティア活用推進要綱」に沿うものであり、令和2年度においても、株式会社城西第一興商様による音楽レクリエーションという音楽を用いた体操や脳トレ、ゲームなどのボランティア活動を受け入れさせて頂いた。たいへん好評で、笑顔が多く見られた。また、コロナ渦でもあったため、体温チェックや三密を避け、ソーシャル＝ディスタンスを保つなど、マスクや消毒を徹底し、飛沫感染防止対策を徹底して、小さく行われた。

8 実習生の受け入れ

平成 25 年度に制定した「介護実習生等受け入れ要綱」に沿って、実習生の受け入れを図っている。平成 31 年度（令和元年度）は、小学校および中学校教諭の教員免許状の取得を希望する学生を、介護等体験の実習生として、10 名を受け入れた。

9 職場体験事業希望者の受け入れ（主催：東京都福祉人材センター）

介護業務への就労を希望する者を施設に受け入れ、介護サービスや業務内容の理解を深め、介護職場への定着を図ることを目的とする職場体験事業について、実習生として、現役高校生を受け入れ予定をしていたが、コロナ渦にて令和 2 年度は受け入れしなかった。また、応募の連絡も入らなかった。

10 福祉職場サポート業務希望者の受入れ（主催：東京都福祉人材センター）

主婦や高齢者等が対象で、施設での補助的業務（清掃、洗たく、配膳・下膳等）に関する就業体験を希望する者を、研修生として 1 名を受け入れた。

11 インターンシップの受け入れ

介護業界、介護機器および福祉政策などに関心があり、自分なりの目的を持って主体的にプログラムに参加し、成長したいと考えている大学等の学生を受け入れている。コロナ渦という事情もあって、令和 2 年度は応募者がいなかった。

12 実績の見られた有効な介護ロボット

介護ロボットの導入によって、介護ロボットに関する研究事業に参加してきたが、実際に有効的な結果を示している介護ロボットは、次に示すものであった。

《表 5》みさよはうす土支田で現在使用されている有効なロボット機器一覧

種類	会社	機種	配置数	利用数	備考
機能訓練	モリトー	POPO	1	1	
機能訓練	モフトレ	MOFF	1	1	
移乗支援	パナソニック	リショーネ	1	1	
移乗支援	パナソニック	リショーネ(旧型)	1	1	
移乗支援	ケアフォース	サテライト・サラステディ	1	1	
移乗支援	イノフィス	マッスルスーツスタンドアロン	1	1	
コミュニケーション	富士ソフト	PARLO	2	2	
コミュニケーション	(株)知能システム	PARO	2	2	
見守り支援	ノーリツプレジジョン	NEOSCARE(サーバ)	1	1	
見守り支援	ノーリツプレジジョン	NEOSCARE(32	32	
見守り支援	パラマウントベッド	眠り scan	32	32	
見守り支援	(株)トラックキモ GPS	トラックキモ	2	2	
移動支援	RT ワークス	RT1	1	1	
排泄支援	リバティソリューション	RT2	1	1	

排泄支援	アロマ化成	キューレット	2	2	
排泄支援	フランスベッド	HELPPAD	12	12	

13 地域貢献（連携）

(1) 東京子育て応援事業

平成 28 年 9 月から、公益財団法人東京都福祉保健財団の助成を受けて、地域に対する社会貢献の一環として、「子ども食堂」を特養施設内で運営をしてきた。平成 29 年度は、6 月から「子ども食堂」と併せて、「そろばん教室」を開始し、平成 30・31 年度においても、4 月から平成 31 年・令和 2 年 3 月までの期間、「子ども食堂」と「そろばん教室」は、つぎのように、実施された。

- ① 原則として、毎月第二土曜日に開催
- ② 延参加者数は、12 名（緊急事態宣言などで中止により激減）
こども食堂／こどもそろばん教室／こども英会話教室（1F ホールにて）



尚、平成 31 年 4 月から試験的にボランティアとして、「こども英会話教室」がはじめられ、好評のうちに 2 年間実施できたことは、喜ばしいことであった。但し、令和 2 年度は、コロナ渦ということもあり、11 月、12 月と令和 3 年の 1、2 月開催の 4 回のみの実施であった。また、次年度も継続が決定された。

(2) 環境美化活動

地域の美化活動に貢献するために、「みさよはうす土支田おそうじ隊」を結成して、練馬区の環境美化活動団体として登録している。練馬区では、毎年 5 月と 11 月の最終日曜日は、区内一斉清掃事業日（ごみゼロデー）と定めていることから、施設でもこれに合わせて、年 2 回一斉清掃活動を行った。

- ・ 日 時 令和 2 年 5 月 24 日（日）
令和 2 年 11 月 22 日（日）
- ・ 場 所 施設周辺

（特養 了）

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

1 はじめに

ショートステイは定員 2 名であるが、特養入所者の入院等による空室利用により、年間利用者数（延べ）は、男性 265 名、女性 532 名、合計 797 名であった（別表 5）。

これは、ショートステイが介護支援専門員からの紹介を通して短期入所が決められるというルールから、みさよはうす土支田側からのアプローチ（営業）をかけたことによる新規獲得者数が上昇したことや介護支援専門員とのコミュニケーションをしっかりと取ったことなどが、主因として考え得る。

ショートステイ利用者の平均年齢は、男性 81.56 歳、女性 85.88 歳、全体 83.72 歳だった（別表 4）。また、要介護度の平均は、男性 3.2、女性 3.2、全体 3.2 であった（別表 6）。ショートステイの稼働率については、特養利用者が、疾病により入院した場合、その部屋をショートステイ利用希望者に活用していただくよう居宅介護支援事業所へ積極的に情報提供し、コミュニケーションを図り、空室を作らないよう有効活用を心掛けている。結果、平成 31 年度は、ショートステイの年間利用率は、108.88% だった（別表 5）。

営業サイドからの分析として、ロング・ショートでの申込者が例年と比較して格段に増えて空席を埋めるのが非常に難しくなって来ている、との見解があった。

2 サービスの実施状況

(1) 事前面接調査（三者面談）と情報の共有

短期入所でも、その期間は快適な施設生活を送って頂くようにするため、医療処置の有無、日常生活の介護の方法、ご家族の要望等を事前面接で聞き取り、職員間の情報共有を図り、対応した。

(2) 施設までの送迎

ドア・ツ・ドアの送迎サービスを行った。

(3) その他

①入浴は、（月）（水）（金）の週 3 回実施。

②ショートステイ利用者のうち、長期間定期的に利用される方については、機能訓練指導員による個別機能訓練も実施した。

令和 2 年度実績 延べ 797 人

③その他施設内のサービスは特養の利用者と同様とした。

(短期入所 了)

令和2年度 ウィング練馬居宅介護支援事業所 事業報告

【期間】 令和2年9月1日～令和3年度3月31日

【職員在籍者（令和3年3月31日現在）】

管理者（1名） 藤本恵美 令和2年9月1日～

介護支援専門員（1名） 藤本恵美 令和2年9月1日～

【利用者数実績報告】 国保請求分

居宅サービス作成依頼	事業対象者	要支援		要介護区分					介護予防受託収入	居宅介護支援費請求額	
		1	2	1	2	3	4	5			
9月	0										
10月	4	1		2	1				7500	15469	
11月	7	4		2		1			26922	43170	
12月	11	4		3	1	2		1	20766	108832	
1月	26	1	8	1	2	6	7	1	52110	242128	
2月	27	1	9	1	4	4	4	3	54798	235288	
3月	35		10	2	7	8	4	2	56142	340151	
合計	110	2	36	4	20	20	18	5	218238	985038	

○終了ケース：4件（逝去1名・転居1名・他事業所変更2名）

【研修出席状況】

・令和2年度9月14日	高齢者施設における感染症対策（オンライン研修）
・令和2年度10月12日	身体拘束の廃止等への取り組みについて（オンライン研修）
・令和2年度10月27日	コロナウィルスアドバイザーより研修
・令和2年度11月9日	事故防止への取り組み（オンライン研修）
・令和2年度11月11日	地域資源の活用（ケアマネージャー連絡会光が丘地域活動班主催）
・令和2年度11月	新型コロナウイルス感染症の知識（特別動画セミナー）
	新型コロナウイルス感染症対策に役立つ！介護施設の衛生管理について
	新型コロナウイルス感染症対策 現場で必要な対策がすべてわかる
・令和2年12月17日	自衛消防訓練参加
・令和2年12月14日	特別養護老人ホームにおける看取り介護について（オンライン研修）
・令和3年1月11日	記録の書き方（オンライン研修）
・令和3年2月8日	福祉サービスにおける苦情解決（オンライン研修）

【苦情報告】

・事業所変更依頼（令和3年1月末）：担当ケアマネによる対応を家族から苦情受ける。

詳細 担当ケアマネがターミナル期の利用者への言葉により本人が意欲を失ったと長男様が

ら苦情あり。

担当変更依頼受ける。速やかに包括支援センター担当者へ連絡し別事業所ケアマネに引継ぎを行う。

(改善策:言葉遣いやマナーを日ごろより十分に配慮を行い余裕をもった対応をこころがける。)

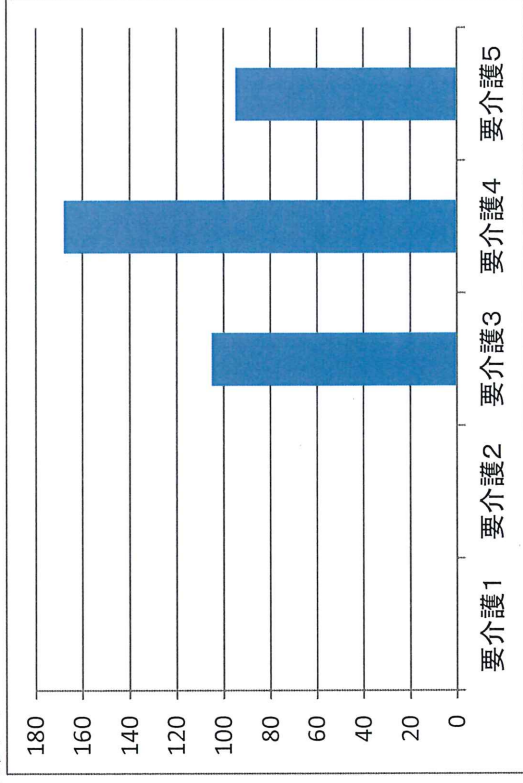
(了)

(別表1)

〈年度末平均年齢〉

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	3	76.0	62～87
女	25	89.3	68～99
(全体)	28	87.9	62～99

(別表3)



(別表2)

〈月別利用者の状況〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	8	8	105
要介護4	14	15	15	14	14	15	15	15	15	14	13	13	168
要介護5	8	7	8	8	8	8	8	8	8	9	8	8	95
計	30	30	31	30	30	31	30	30	30	30	29	29	360
要介護平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0
実人員	895	914	882	930	930	891	930	900	927	854	808	869	10,730
延べ定員数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950
1日平均利用者数	30.0	30.0	31.0	30.0	30.0	31.0	30.0	30.0	30.0	30.0	29.0	29.0	360
稼働率	99.40%	98.28%	98.00%	100.00%	100.00%	99.00%	100.00%	100.00%	99.68%	91.82%	96.19%	93.44%	98.00%

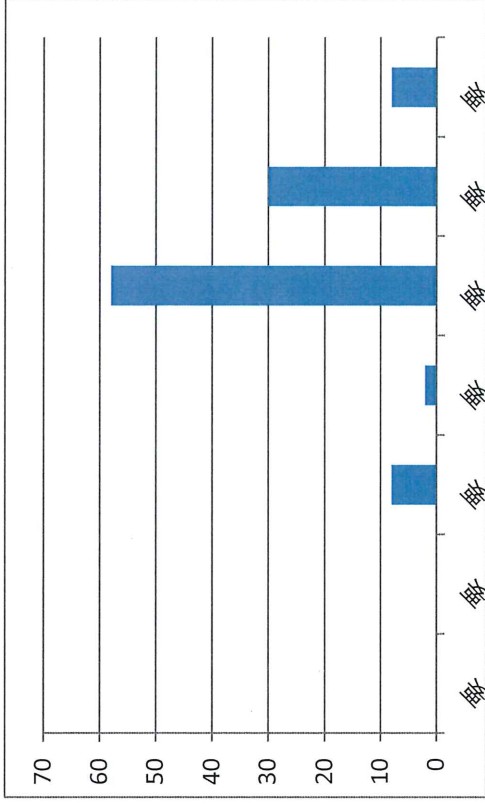
(注) 本表では、在籍日数により算出しています。

(別表4)

<年度末平均年齢>

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	7	84.4	72～94
女	4	86.2	83～94
(全体)	11	85.2	72～94

(別表6)



(別表5)

<月別利用者の状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1													
要支援2													
要介護1		1	1				3			1			8
要介護2										1	1		2
要介護3	3	4	4	5	5	3	5	5	5	6	7	6	58
要介護4	2	4	4	1	2	2	3	2	2	2	3	3	30
要介護5							1		2	1		2	8
計	5	9	10	6	8	7	12	7	9	11	11	11	748
要介護平均	3.4	3.2	3.5	3.3	3.1	3.2	3.1	3.4	3.7	3.2	3.2	3.6	3.3
実人員	33	75	55	53	66	65	67	41	57	114	87	84	797
延べ定員数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	732
1日平均利用者数	3.1	2.3	2.0	2.0	1.8	2.1	1.9	1.4	2.1	1.7	2.1	2.0	2.0
稼働率	55.00%	120.97%	91.67%	85.48%	106.45%	108.33%	108.06%	68.33%	91.94%	183.87%	155.36%	135.48%	108.88%

(注) 本表では、退所日は日数には含んでいません。

令和2年度

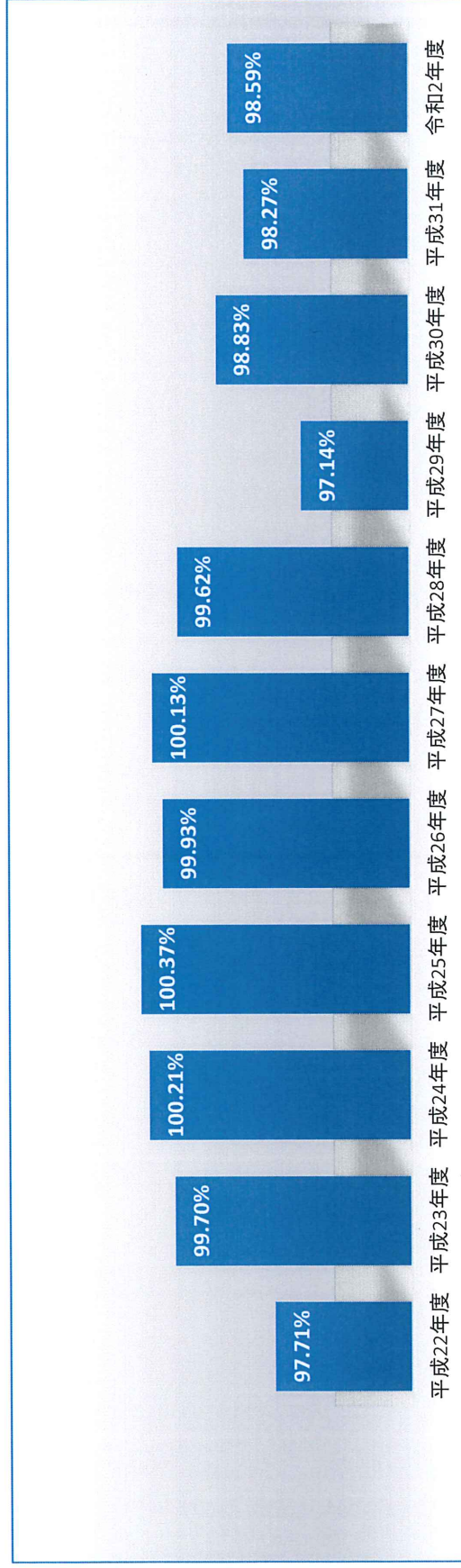
(別表7)

〈月別稼働率〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養・ショート(定員32名)													
特養	893	914	874	930	930	892	923	900	928	856	808	870	10718
ショートステイ	33	75	55	53	66	65	67	41	57	114	87	84	797
計	926	989	929	983	996	957	990	941	985	970	895	954	11515
延べ定員数	960	992	960	992	992	960	992	960	992	992	896	992	11680
稼働率	96.46%	99.70%	96.77%	99.09%	100.40%	99.69%	99.80%	98.02%	99.29%	97.78%	99.89%	96.17%	98.59%

(注)本表では、実利用日数で算出しています。

(別表8)



年度	稼働率
平成22年度	97.71%
平成23年度	99.70%
平成24年度	100.21%
平成25年度	100.37%
平成26年度	99.93%
平成27年度	100.13%
平成28年度	99.62%
平成29年度	97.14%
平成30年度	98.83%
平成31年度	98.27%
令和2年度	98.59%